

市長の意見交換会〈真野地区〉質疑要旨

日時：令和7年11月30日（日）10：00～11：00 会場：真野ふるさと会館 1階多目的ホール

参加人数：24名（下記市職員は含まない）

佐渡市：渡辺市長、岩崎総務部長、北見企画部長、河島財政課長、真野行政SC菊地 他4名

1. 市政について

市長より説明	<p>（説明内容）</p> <p>○持続可能な島づくりの実現に向けた現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会に向けた対策 転出を減らし転入を増やす社会減0が目標 若者の雇用作り</li> <li>・地域教育 子どもたちに佐渡を好きになってもらい、佐渡に残りたいと思ってもらう 島の推しごとグランプリ 佐渡で働きたいと思ってもらえるような仕組み作り</li> <li>・医療、水道、老健など一般財源の負担が大きい 官から民への業務の見直し（市民サービスを維持ないし良くするために）老健施設 保育園</li> <li>・佐渡市は消防、水道の広域化が出来ない、その差を埋めるよう国へ提言する</li> <li>・行財政改革 AIを活用した業務の効率化、web会議の活用による移動時間、化石燃料、CO2の減少</li> </ul>
--------	---

2. 質疑

質問者 （居住地区）	意見の要旨	市長の回答	関係部署
（椿尾地区）	コンパクトシティについて 金井、佐和田を中心としたコンパクトシティを目指してほしい。中心部に住みたい人、静かな所に住みたい人、アクセス整備が大事。	佐渡市の戸数は約25,000戸、中央に集めてしまえば財源は半分以下で済む。ただ、佐渡の在り方は文化・お祭り・美しい風景である。若者は子育ての観点から中央部へ、その他好きな場所がある。行政としては中央部だけではなく、周辺部も守っていくのが非常に重要である。市民サービスを維持しながらの効率的な行政。学校・病院・商店街のエリア等、広い佐渡をエリア分けした佐渡版グランドデザインみたいなものを検討している。	建築住宅課
（長石地区）	遠征費の補助について 小学校からスポーツに力を入れている人は遠征費に1,000万円もかかったと聞いている。我が家も高校3年間で遠征費に250万円かかった。全国大会や進学への補助ではなく、細かな遠征も手厚く補助してもらえないか。	全国大会や強化選手への支援はかなり拡充している。離島がゆえにハンデはあるが、他市の動向も踏まえ、どの程度までやるのが適切か議論させてもらいたい。補助金をどんどん増やすというのは、ばら撒きになってしまうので、ご意見として賜り、また検討させていただきたい。	文化スポーツ課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(真野新町地区)	<p>柏崎刈羽原子力発電所の放射能に対する対応について</p> <p>新潟県知事が柏崎刈羽原子力発電所の稼働を容認した。東日本大震災では、知り合いの椎茸農家が風評被害により大ダメージを受けていた。一度でも事故が起きれば風評被害により産業や観光に影響があると思う。</p> <p>佐渡市の防災について教えていただきたい。</p>	<p>福井とか西の方は、かなり稼働している。原発事故が不安なので、事故が起きないと言う理由、どこを改善しているのか県民に伝えてくれと知事や東京電力、原子力規制庁にも言っている。</p> <p>対策としては、モニタリングポストが関岬にあるが、柏崎側に置いてくれるよう要望している。東北電力管内で原発が動くとか電気代が安くなるとかメリットがあるのですが、東京電力なので、県民全体に波及効果があるような仕組みが必要。</p> <p>これは七つの項目の一つに入っていて、市長会としても知事の判断は容認している。私が容認するのは、50km圏外での避難計画の構築、県民へしっかりと説明する事を県議会で議論し、国にしっかりと話をつけてもらいたい。</p> <p>国民保護計画の避難計画では、事故が起きた時は一旦屋内退避をするようになっている。地震により道路がダメになったら避難もできない、先般の停電で明らかになった孤立集落対策も必要となる。</p> <p>脱炭素先行地域として庁舎にソーラーパネルを設置し発電する仕組みを着々と整えていて、公民館に機械を設置してであると、充電したEVカーと接続すると電気が使える仕組みを進めている。今3ヶ所設置していて、国へ申請し、補助金でトータル6ヶ所（R7年度中）を計画している。</p>	防災課
(背合地区)	<p>韓国との関係性について</p> <p>市長は徴用工を認める発言をしたような気がする。</p> <p>世界遺産登録後、追悼式をやっているが韓国は欠席である、このような状態が続くようなら廃止を検討すべきではないか。</p>	<p>当時は日本国であり募集などにより佐渡鉱山に来ていたものと承知しておりますが、鉱山の労働条件は良く無かったのも事実です。</p> <p>追悼式のあり方につきまして、ユネスコの世界遺産委員会の際に、日本政府代表が追悼式の開催を委員国に約束しました。佐渡市としましては、国際的な委員会で国が約束したことを実施している意識でおりますので、廃止するという事は基本的にありません。</p>	世界遺産課
(畑野地区)	<p>観光客の誘致について</p> <p>佐渡は熊も猪もないので観光客に人気だと聞いた、こういう点を利用して観光客が来るよう頑張してほしい。</p>	<p>佐渡は熊、猪だけではなく鹿もない、佐渡の風景を守るのに大きく影響している。害獣がいらない事により草花や環境が守られているから美しい。</p> <p>佐渡は花の島としての実力は日本でも有数だと思う。植物の生態が日本でも独特で、シラネアオイが標高300m～1000m位まで順番に移動して咲く、面白い植生となっている。これを来年のトレッキングにもっともっと力を入れたいと思っている。観光は「見る」ではなく「ファン」になってもらいたい。長期滞在型の観光を進めて、年に何回か来てもらおう、佐渡は二地域移住のモデル地区になっていますので、別荘を持って二地域移住をしてもらおう。今、湯沢町と連携して季節に合わせた働き方を考えている。リゾートバイトとか、佐渡を好きになる子ども、帰って来る子どもを増やす事が人口減少を防ぐ大事な所だと思っている。</p> <p>健康寿命も大事。寝たきりで病院のベットが増えると、どんどん赤字が増えるので、早期発見の仕組みを強化し医療の必要の無い、良い社会を作っていきたい。</p>	観光振興課